

第105回日本陸上競技選手権

開催日: 2021年6月24日(木)~27(日)

場所: ヤンマースタジアム長居

種目	名前	学年	記録	着順	備考
1500m	西出 優月	4年	4分20秒56	12	自己記録 4分22秒01を更新
3000mSC			10分13秒79	11	

【山本コメント】

本大会は、陸上競技の本年度日本チャンピオンを決める国内最高峰の大会であり、高く設定された標準記録を突破した選手のみが出場することができる。さらに今大会は、東京オリンピックの代表選考会を兼ねており、各種目とも高いレベルでの競い合いが見られた。本学から西出が3年連続で出場した。

西出は、今大会としては自身初めて2種目出場した。大会2日目に出場した1500m決勝では、持ちタイムとしては出場選手の中で最下位だったが、ハイペースで展開されるレースにおいて中位集団の中で最後まで食い下がり、自己記録を更新した。この種目でも、自己記録の更新を今後ますます目指してもらいたい。

一方、翌日実施された3000mSC決勝では、昨年は5位に入賞していたので今年も上位を目標にしていたが、今回は序盤から先頭集団の流れに乗れないまま終盤まで順位を上げきれず、タイム、順位とも昨年には及ばない結果となった。いつも思い通りにいかないのがスポーツの難しいところであり面白いところなので、まだまだ発展途上の選手として、今回の結果、過程を今後の機会に活かして行ってほしい。

本大会は、昨年に引き続きコロナによる影響で様々な困難があったが、多くの人たちの工夫、努力によって開催に至った。出場したすべての選手がこの大会に向けて懸命な努力をしてきている中、勝つ選手が必ずいて、負ける選手も必ずいるのがスポーツである。また、単なる勝ち負けでは意味づけられない物語があるのがスポーツであり、スポーツを見ること、応援することで社会全体に影響を及んでいくのもスポーツである。コロナ禍の中で心配は続くが、感染拡大防止に注意しながら、若者たちのかけがえのない成長の機会、スポーツの機会が守られていくように願いたい。